

芸豪烈伝その8 くにもと・たけはる 国本武春

浪曲に勝る芸はない

写真・森 幸一文・おさだ衛



くにもと・たけはる 本名・加藤 武。千葉県生まれ。父は故・天中軒龍月、母は女流浪曲の急先鋒・国本晴美。趣味はバイクのツーリング。164センチ、75キロ、持病は「肥満」。性格は「感情の起伏が激しい、B型」。愛妻の美枝夫人は元・邦楽ジャーナリスト。

好きこそものの上手なれ。
武春は浪曲に魅了され浪曲の素晴らしさを日本中に訴えようとしている浪曲の申し子だ。声、ルックス、現代的センス、頭の良さ、それに加えて若さがある。武春の可能性は無限大だ。「人間の幸福」という宮本輝のベストセラーがある。なるほど人間の幸福

か。30歳を過ぎると人間は「幸福」を求め、人生の価値と意味を考えるようになるんですね。

私の幸福の瞬間はと考えると、道で十円玉を拾ったとき、アイスクリームのバーが当たりだったとき、階段の先を行くミニスカ娘の太モモがのぞけたとき、と下品で志が低く我ながら情けないゾ。

武春は職業と生き甲斐が一致している「幸福」な「人間」だ。浪曲に命をかけている。

「浪曲が好きなんです。浪曲に勝る芸はないですよ。浪曲が一番です。歌あり物語ありリズムありでバランスがいい。ひとりりで演れる総合芸。落語や講談と違って食い足りなさがないですよ。名人の一席で満腹できます」

武春というと三味線ロックだが、なぜロックなのか。

「浪曲の真髄はメロデー、節です。むかしからレイ・チャールズやジェイムス・ブラウンとか黒人のファンキーな音楽が好きで、浪曲の節に取り入れようと。」

国本武春ここにあり、という大きな波を作っていきたいし、今は浪曲だけでは客を呼びこめる力量がないんで」
武春の話を聞いていて、こちらが気持ちよくなるのは、武春の浪曲への愛が真つ直ぐだからだ。

「たとえ、諸先輩が浪曲をやめても、ぼくは続けるでしょう。」



「女房もぼくも強情っぱりで陽気」。仕事同様、家庭を大切にしている。美枝夫人は6月に初産の予定。真ん中は東家幸楽（85）。武春のやさしい師匠だ。

ほくには理想の浪曲があるんです。浪曲界に入って14年、ほくもいろいろ浪曲の師匠の舞台を見てきました」
天中軒雲月がお客を沸かせて、次に浪花家辰造がお客をうならせて、京山幸枝若が熱狂させて、東家浦太郎（初代）が拍手の嵐を受ける、という光景が武春の耳に目に鮮烈に焼きついて離れない。

「千人、二千人の前で浪曲をうなってお客の心をつかみたい、というのがほくの目標なんです」
武春の活動の幅は着実に広がっている。

東京は青山の「南青山MANDARA」というおしゃれなライブスポットで「うなりまSHOW」と題したライブを開催している。6月21日にその3

回目がある（詳しくは15ページ）。

CDも好評発売中。「間違えないでおくんさい」はフジテレビ系「ポンキッキーズ」の国本コーナーでオンエア中。7月5日発売の「たいたいづくし」はフジテレビ系アニメ「クマのプー太郎」のテーマソングだ。

「いま、ほくは34歳ですが、早く40代50代になりたいんですよ。」

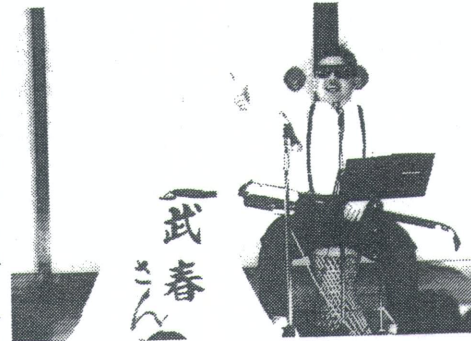
その頃になつたら声は出る、節は良くなる、タンカも洗練される。貫禄が出る、押し出しが良くなって……、ほくの理想の浪曲ができるはずですよ」

語り芸は演者の人間性で深くも浅くもなる。知識、経験、鍛練の度合い、選ぶ言葉のセンス、演題の持つテーマなど、武春は同時代の他の話芸の巧者と比べて遜色は全く無い。

それにしても浪曲の今後に不安はないのか。
「自分が楽しければ、いいと思うんですよ。」

変に「おれが浪曲の灯火を守るぞ」なんていう使命感を持たないほうが長続きしますよ。桃中軒雲右衛門にしても「お前なんか浪曲を守ってもらわなくてもいいよ」って言うでしょうしね、もし生きてたら」

気楽に肩の力を抜いて、それでいて主義主張は通す。武春の名前の「武」は武張っていても「春」で春風駘蕩のおおらかさ。硬軟自在の全方位外交型で、すがすがしい若者だ。



「はじめて黒メガネをかけて三味線ロックを演ったとき、木村若衛師匠からアンマと間違えられました」。愛想の良さとスゴミが同居する舞台。一見の価値あり。

浪曲のむずかしさは語られる言葉と物語が、初めて聞く若者にとってヒンズー語なみの「難解さ」なのだが。

「そうなんです。わかんないやつは置いてくぞ、はマズインですね。若いひとには、ああ国本は面白いことを言っているに違いないと、だましたりスカシタリして勉強していただき、浪曲を調べてもらうように「洗脳」したいんですが」

オウムの洗脳はお断りだが、武春の浪曲洗脳は望むところだ。厳しい修行でなく、笑って楽しめて「日本の物語」が学べるのも。

「お金は生活できればいい程度で十分です。家も借家でいいし。浪曲がうまくなりたいです」

不況、先細りと言われる浪曲界にこの若き芸豪。古河に水たえず。浪曲の大河は枯れることは、ない。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと
思います。

8/52

浪曲家の皆さん…頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉